

教育データ利活用 (EdTech) における ELSI (倫理的・法的・社会的) 問題への対応

—欧米における具体的事例をもとに—

2024 **5.17** (金) 18:30-20:30

広島大学教育学部BIOIとオンラインのハイフレックス開催
申し込み時に、対面参加かオンライン参加のいずれかを選択してください

- 18:30-18:35: オープニング 川口広美 (広島大学)
18:35-18:45: 趣旨説明 (兼NICEの紹介) 草原和博 (広島大学)
18:45-19:45: 講演 (加納圭・滋賀大学)
19:45-20:05: プロジェクトメンバーとの対話 草原和博, 隅谷孝洋 (広島大学)
20:05-20:25: 質疑応答
20:25-20:30: クロージング 川口広美 (広島大学)

EVRIでは、「デジタル・シティズンシップ・シティ」プロジェクトで、リアルな教室の枠組みを超えて、デジタルツールを活用しながら社会的課題を考える教育ビジョンを提案、実践しています。しかし、こうしたデジタルツールを用いるとき、しばしば倫理的懸念が指摘されます。EdTechでは、評価や個別最適な学びのために、また感情・集中力、悩み等を測定するために、個人の発言や回答だけでなく、表情や心理などの情報を収集するためです。

欧米のEdTech先進国では、既にEdTechの倫理的・法的・社会的課題 (Ethical, Legal and Social Issues: ELSI) が顕在化しています。本セミナーでは、本課題の研究を先導されている加納圭先生をお招きし、課題の具体例と対応策を検討していきます。

【主催】 戦略的イノベーション創造プログラム (SIP) 第3期課題「ポストコロナ時代の学び方・働き方を実現するプラットフォームの構築」採択事業「デジタル・シティズンシップ・シティ:公共的対話のための学校」(研究代表者:草原和博)

【共催】 教育ビジョン研究センター (EVRI) (定例セミナー講演会 No.161)

教育ビジョン研究センター (EVRI)

右のQRコード等からお申し込みいただけます

<https://evri.hiroshima-u.ac.jp/29144>

お申し込み後にオンライン会議に必要な情報をご連絡いたします

